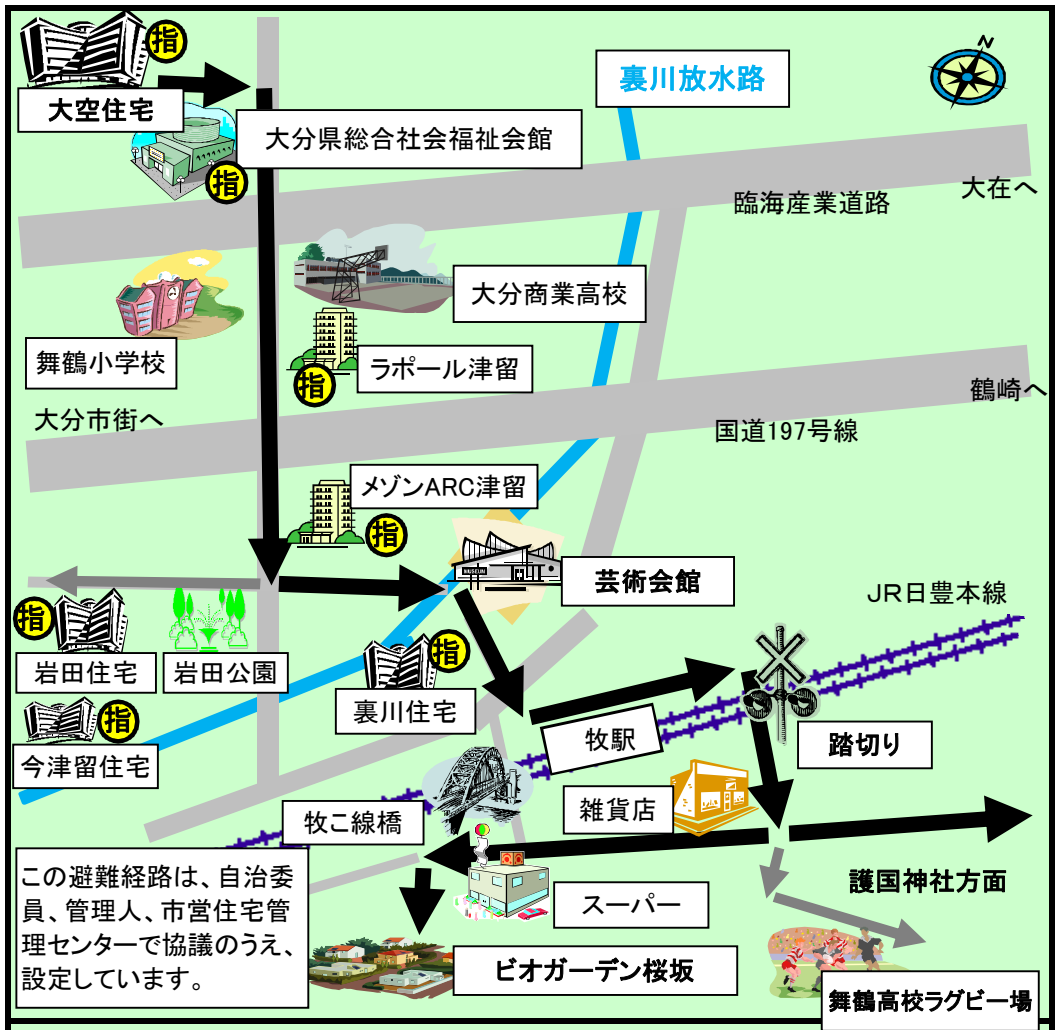
津波警報が出た際にご利用ください。

大津波を想定した避難場所と避難経路



避難経路

大空住宅 →（約35分／1700m）→ 芸術会館 →（約15分／500m）→ 踏切り

海抜約2．1m　海抜4m　海抜11m

→（約12分／400m）ビオガーデン桜坂　海抜22．1m

→（約22分／800m）護国神社下　海抜23m

市営大空住宅

・避難場所	ビオガーデン桜坂、 護国神社下
・避難経路	大空住宅→芸術会館→JR日豊本線踏切り →ビオガーデン桜坂、護国神社下
・避難に要する時間	踏切り約50分　ビオガーデン桜坂約62分　護国神社下約72分 （大人がゆっくり歩いた際の時間です。）
・距　離	踏切り　約2,200m　ビオガーデン桜坂　約2,600m 護国神社下　約3,000m
・海　抜	大空住宅　約2．1m　芸術会館　約4m ビオガーデン桜坂　約22．1m　護国神社下　約23m
・津波避難ビル	大空住宅、大分県総合社会福祉会館、ラポール津留、メゾンARC津留、岩田住宅、今津留住宅、裏川住宅等 （高台まで避難に時間がかかるため、必要に応じて避難ビルを活用すること。指が指定避難ビル）
・避難経路の注意事項	国道や踏切りがあります。横断に注意して避難してください。 裏川放水路に、津波が遡上する可能性がありますので、橋を渡る際は確認のうえ避難してください。

津波避難をする際、気をつけること

（1）身のまわりの安全	まず、我が身の安全を考えましょう。（自分がけがをしては、避難できません。）
（2）高台（地図で示した場所）までの避難	避難経路が建物倒壊等で塞がっていることもありますので、臨機応変に対応しましょう。また、高台へ到着した後、身体の安全を確保し、さらに高い場所への避難を心がけましょう。
（3）車による避難の禁止	車は事故等により渋滞し、津波に巻き込まれる危険性が高いので控えましょう。
（4）財産の保全や持ち出し	まず、身体の安全を最優先に考えましょう。
（5）避難で引き返さない	貴重品を取りに戻って津波に巻き込まれた人もいるので、やめましょう。
（6）避難指定ビル等への避難	津波で浸水が始まったら、高台への避難はせずに、市が指定する避難指定ビル等に登りましょう。やむを得ない場合は、海岸に面する前面のビルより、2列目、3列目の建物に避難しましょう。

・連絡先　大分県住宅供給公社　市営住宅管理センター　　電話097-533-1674

作成　大分市土木建築部住宅課
平成24年8月